

## 【地域協働推進課からのお知らせ】 ～雪による被害から身をまもるため～

### ■家の中で安全に過ごすために

- ①気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは、外出を避けましょう。
- ②日頃から停電に備え、懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ・灯油・非常食・飲料水などを準備しておきましょう。
- ③FF式暖房機などを使用している場合は、一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。

### ■車で外出するときに気をつけること

- ①万一に備えて、携帯電話を忘れずに所持しましょう！
- ②防寒着・手袋・スコップ・けん引ロープなどを用意し、燃料があることを確認して出かけましょう。また、万一に備えて飲料水や非常食も用意しておくとう安心です。
- ③危険を感じたら、道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。
- ④車が立ち往生したときは、ロードサービスや近くの人家などに救助を依頼し、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。
- ⑤避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防や警察に連絡して、車の中で救助に備えてください。
- ⑥車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。

### ■除雪を行うときに気をつけること

#### ①屋根の雪下ろしをするときは

- ・複数で行う ⇒ ハシゴを支える。安全を確認する。万一の場合は、救助を求める！やむ得ず一人で行う場合は、家族や近所の人に声をかける！
- ・滑り止め ⇒ 靴やハシゴに滑り止めをつける等の工夫をする！
- ・命綱をつけて ⇒ 面倒でも、腰に命綱をつけて滑った場合や雪の急落に備える！
- ・周囲を確認 ⇒ 屋根の下を通行する人や子どもに注意する！

#### ②除雪機を使用するときは

- ・服装に注意 ⇒ 機械に巻き込まれないような服装に着替える！
- ・雪が詰まった場合 ⇒ 機械トラブルが発生したときは、必ずエンジンを停止する！
- ・周囲を確認 ⇒ 通行人や子どもに注意する！

#### ③その他の注意事項

- ・屋根の雪に注意 ⇒ 屋根の下を通るときは、「雪」や「つらら」に注意する！
- ・健康に注意 ⇒ 無理に除雪作業は行わない。除雪作業で汗をかいたら着替えをする！
- ・気象情報に注意 ⇒ 暴風雪警報や大雪警報が発表されたら、外出は控える！

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

## 【気象台からのお知らせ】「緊急地震速報」を見聞きしたら、まず身の安全を！

「緊急地震速報」とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早くお知らせする情報で、テレビやラジオ、携帯電話・スマートフォンなどを通じて伝えられます。

緊急地震速報の発表から強い揺れが襲ってくるまでは、わずか数秒から長くても数十秒しかありませんが、あらかじめ危険を回避する行動を取ることで、身の安全を図ることができます。

### ■緊急地震速報を見聞きしたら

- ①家庭では
  - ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する・あわてて外へ飛び出さない
  - ・無理に火を消そうとしない
- ②屋外や街では
  - ・看板や割れたガラスの落下、ブロック塀の倒壊に注意する
- ③運転中は
  - ・ハザードランプを点灯し、周りの車に注意をうながす
  - ・急ブレーキはかけず、ゆるやかにスピードを落とす



問合せ 札幌管区気象台 気象防災部 地震火山課 ☎011-611-6125

## 余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「**平常レベル**」でした

測定日：11月22日～12月20日  
最高値：60nGy/h  
最低値：30nGy/h  
平均値：36nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60ナノグレイ毎時（nGy/h）程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

問合せ 地域協働推進課 ☎21-2142